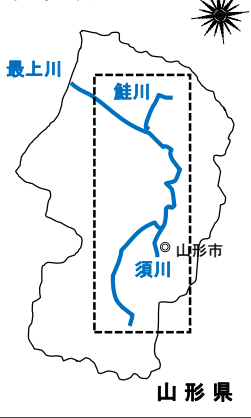


# 令和4年8月出水を踏まえた最上川上流（置賜地域・村山地域）緊急治水対策

- 令和4年8月出水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、置賜地域において国、山形県、市町等が連携し、河道掘削、堤防整備、調整池等の取組を集中的に実施し、流域における浸水被害の軽減を図ります。
- 令和2年7月豪雨を踏まえ進めている最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクトの着実な推進を図ります。
- 「流域治水」の実践・深化に向けて、特定都市河川制度（特定都市河川の指定）を活用した取組を推進していきます。

## 位置図



- ### ■被害対象を減少させるための対策
- 氾濫域での対策
- ・災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導
  - ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）
  - ・雪対策と連携した住居の高床化への支援【市】
  - ・雪対策と連携した住居の高床化への支援【市】

- ### ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 氾濫域での対策
- ・水害リスク空白域の解消
  - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
  - ・流域自治体との洪水対応演習
  - ・メディアと連携による洪水情報の提供
  - ・広域連携による避難体制の強化
  - ・民間企業と連携した避難体制の強化
  - ・水防拠点の拡張・増設
  - ・危機管理型水位計の設置
  - ・R2.7出水の課題を受けたタイムラインの改善
  - ・講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
  - ・まるごとまちごとハザードマップの促進
  - ・避難所等への避難通路等の確保
  - ・市町村庁舎等防災拠点の機能確保
  - ・河道掘削土を活用した水防拠点（兼避難場所）の整備

- ### ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 河川区域での対策
- ・河道掘削、堤防整備等
  - ・貯留機能を活用した遊水地等の検討
- 【令和2年7月豪雨対応】
- 全体事業費 約656億円
  - 事業期間 令和2年度～令和11年度
- 【令和4年8月洪水対応】
- 全体事業費 約35億円
  - 事業期間 令和4年度～令和7年度
- 集水域での対策
- ・内水調整池、砂防堰堤等の整備
  - ・雨水幹線の整備、貯留管
  - ・利水ダム等25ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、山形県、東北電力（株）、土地改良区など）
  - ・森林整備・治山対策・水田貯留（田んぼダム）・ため池の保全
  - ・農業用排水機場等の整備
  - ・下水道施設（処理場等）の耐水化
  - ・一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留施設の設置
- ※ この他、山形県では管理する河川において、災害復旧事業等を実施していきます。  
今後、災害復旧費用が確定した段階で、事業費に追加となります。

## 令和2年7月豪雨を踏まえた対応（村山地域） 令和3年1月着手 着実な推進

## 令和4年8月洪水を踏まえた対応（置賜地域） 今回追加 区間延伸



- ### 凡例
- 令和2年7月出水浸水範囲
  - 令和4年8月出水浸水範囲
  - 大臣管理区間

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

# 最上川上流(置賜地域)緊急治水対策プロジェクト

令和4年度～令和7年度

～地域特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

○最上川流域では、国、山形県、市町村等が連携して「最上川水系流域治水プロジェクト」を進めているところであるが、令和4年8月3日からの大雨により置賜地域の川西町、南陽市、白鷹町の沿川約8kmにわたって計画高水位を超過し、堤防の決壊リスクが高まり、内水等による浸水被害が発生したことから、以下の対策を実施する。

- ・国、県は最上川本川、支川の災害復旧、河道掘削を集中的に実施し、同規模の洪水に対して氾濫を防止する。
- ・川西町は準用河川の堤防整備、河道掘削、高畠町は内水調整池整備、居住誘導等を実施し、浸水被害の軽減を図る。

■事業期間 令和4年度～令和7年度

■事業費 約35億円

【国:約21億円、県:約14億円】

※ この他、山形県では管理する河川において、災害復旧事業等を実施していきます。今後、費用が確定した段階で、事業費に追加となります。

■目標 令和4年8月出水と同規模の洪水を安全に流下させ、内水等の浸水被害の軽減を図る。

## ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川区域での対策

- ・災害復旧※、白鷹地区・川西南陽地区で河道掘削を実施【国】 ※最上川上流の全域を対象
- ・災害復旧、河道掘削等【県】

○集水域での対策

- ・内水調整池の整備【高畠町】
- ・準用河川の堤防整備及び河道掘削【川西町】
- ・田んぼダムの推進【長井市他】

## ■被害対象を減少させるための対策

○氾濫域での対策

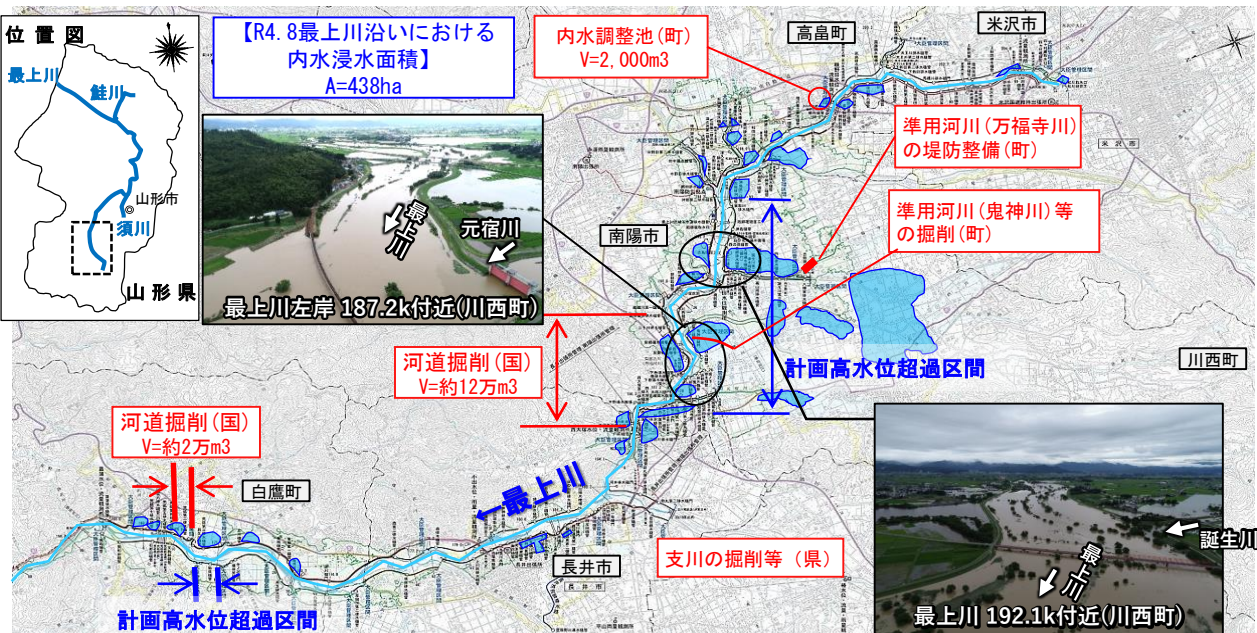
- ・立地適正化計画の作成及び立地適正化計画に基づく安全な場所への居住誘導等【高畠町】

## ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○氾濫域での対策

- ・避難確保計画作成支援【米沢市他】
- ・まるごとまちごとハザードマップの促進、マイ・タイムラインの普及促進【長井市他】
- ・防災ラジオの普及、災害情報ツールの多重化【南陽市他】

## 【対策箇所】



## 【ロードマップ】

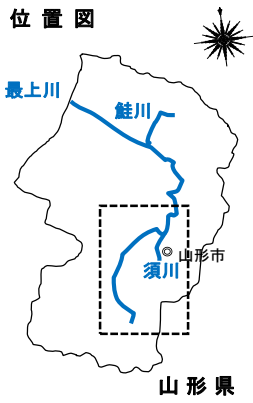
		緊急治水対策(R7まで)			
		R4	R5	R6	R7
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削(国)	約14万m3完了			
	河道掘削等(県)	浸水箇所、支川の掘削等完了			
	災害復旧(国)※最上川上流の全域を対象	災害復旧完了			
	災害復旧・河道整備(県)調整中				
	内水調整池、準用河川の堤防整備等(町)				
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の作成による安全な場所への居住誘導等【高畠町】				
	避難体制等の強化				
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報の充実と普及				

※具体的な対策内容やスケジュールについては、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

# 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【河川区域での対策】

○令和4年8月出水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、再度災害防止対策へ向けた事業に着手。



■事業費 約21億円 (国管理区間)

■事業種別

○災害復旧 全体事業費 約10億円 (県内10箇所)

事業期間 令和4年度～令和5年度

○推進費 全体事業費 約11億円 (最上川)

事業期間 令和4年度

■事業費 約14億円 (県管理区間)

■事業種別

○緊急浚渫推進事業債 全体事業費 約4億円 (約40箇所)

事業期間 令和4年度

○緊急自然災害防止事業債 全体事業費 約10億円 (約40箇所)

事業期間 令和4年度

※ この他、山形県では、県が管理する河川において、災害復旧事業等を実施していきます。今後、災害復旧費用が確定した段階で、事業費が追加されることとなります。

凡例

✕ 堤防・護岸等被災箇所

— 改良事業箇所 (掘削)

⇐ 大臣管理区間

■ 令和4年8月豪雨浸水範囲

## 防災・減災対策等強化事業推進費

事業内容: 河道掘削 約14万m<sup>3</sup>

事業期間: 令和4年度

## 直轄河川災害復旧事業

事業内容: 漏水対策 3箇所、護岸工 4箇所、観測施設 3箇所

事業期間: 令和4年～令和5年度

■全体事業費  
約35億円

## 防災・減災対策等強化事業推進費

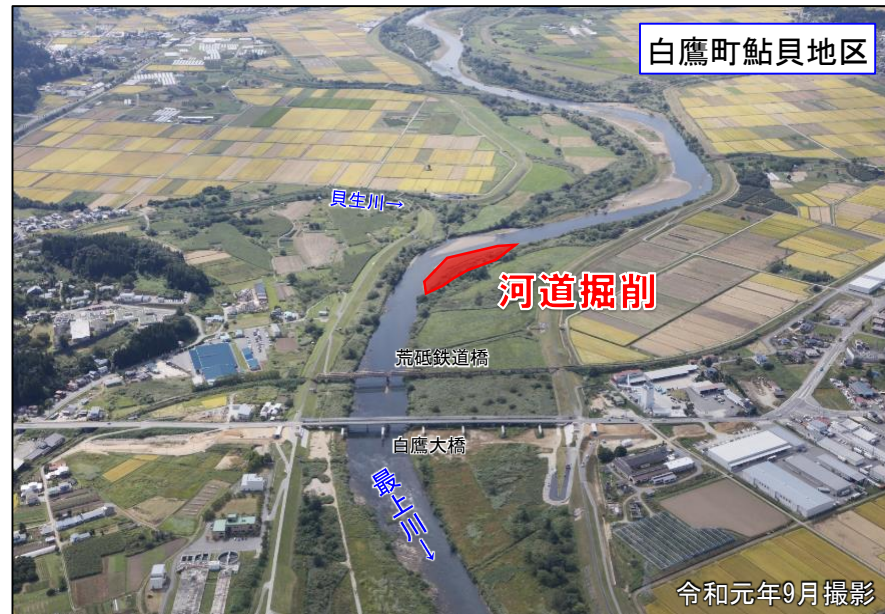
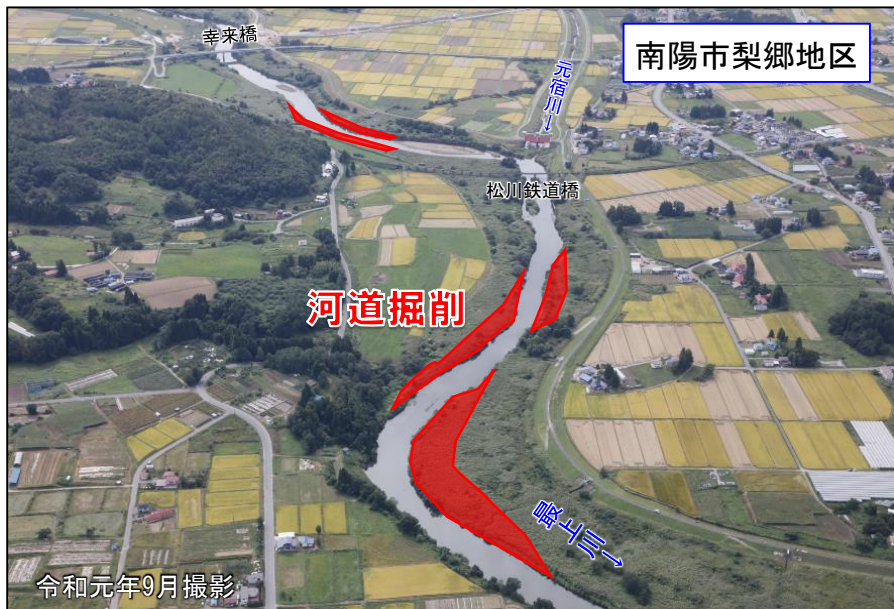
河道掘削

河道掘削

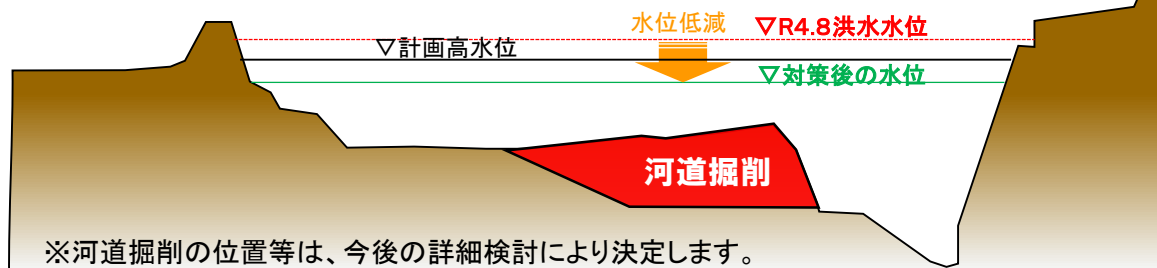
✕ 直轄河川災害復旧事業

## 河道掘削(国)

○最上川本川の河川水位を低下させるため、西置賜郡白鷹町鮎貝地先～南陽市梨郷地先で約14万m<sup>3</sup>の「河道掘削」を実施。



### 【河道掘削のイメージ】



## 最上川の支川における対策(県)

### 河道掘削等

#### 1. 目的

- ・支川の河川水位を低下させるため、河道掘削を実施。
- ・出水による堆積土砂を撤去し、流下能力を確保する。

#### 2. 取組

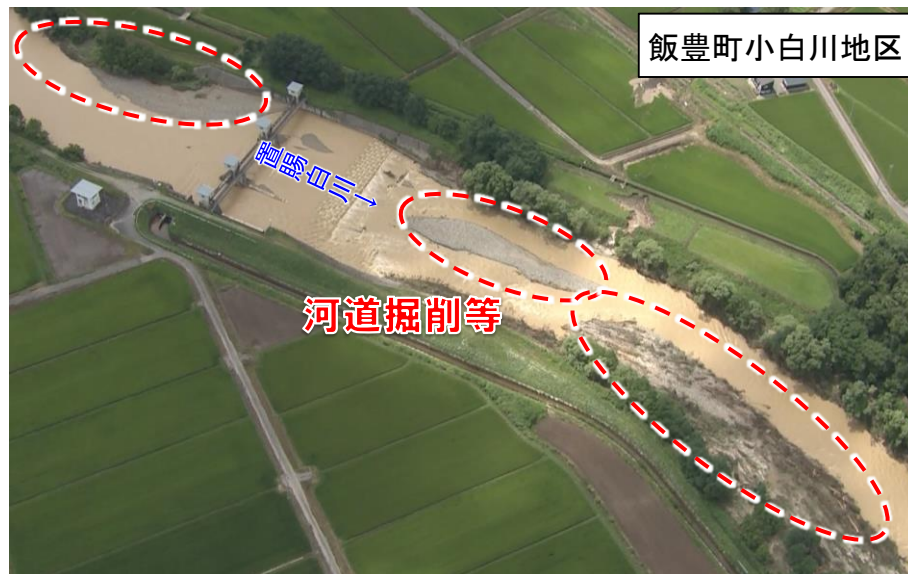
置賜白川や元宿川など、県が管理する支川の河道掘削等を実施する。

事業期間：令和4年度

【河道掘削のイメージ】



※河道掘削の位置等は、今後の詳細検討により決定します。



### 災害復旧

※今後、災害復旧費用が確定した段階で、事業費が追加されることとなります。

#### 1. 目的

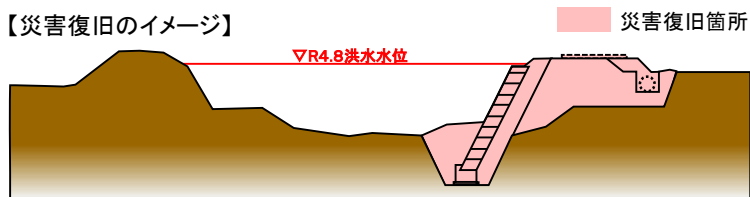
豪雨に伴い被災した河川管理施設(護岸、護床など)の早期復旧を図る。

#### 2. 取組

犬川や置賜白川など、県が管理する支川において、災害復旧を実施する。

事業期間：令和4年度～令和6年度

【災害復旧のイメージ】



## 準用河川の対策(川西町)

### 浚渫

#### 1. 目的 緊急浚渫推進事業債

川西町が管理する準用河川及び普通河川では、出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)しており、現状でもその安全度が十分とは言えない状況にある。  
令和2～6年度の5か年で、河川環境の保全に配慮しつつ、堆積土砂掘削を行い、河川における一定の流下能力を確保する。

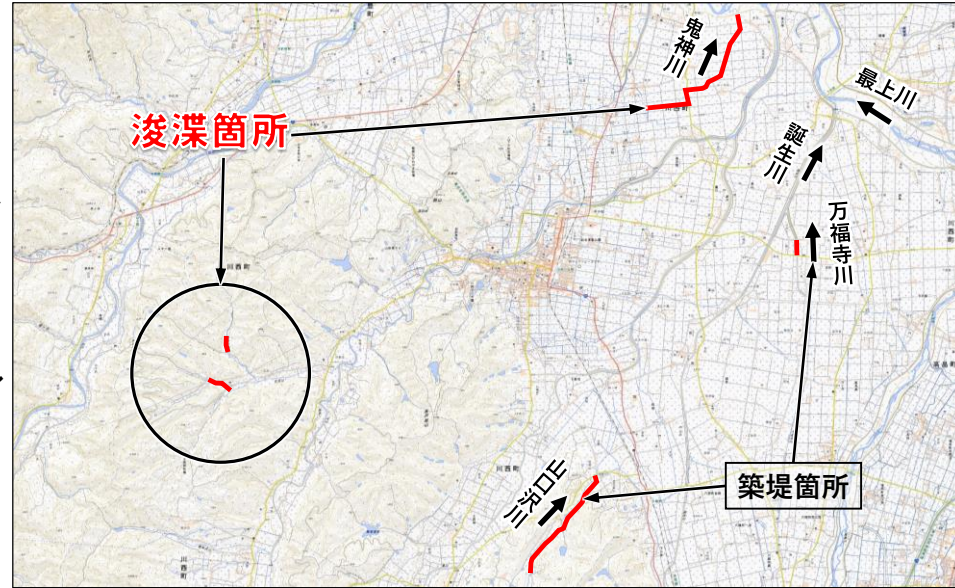
#### 2. 取組

準用河川鬼神川、釜ヶ沢川、大西川の堆積土砂掘削を実施する。

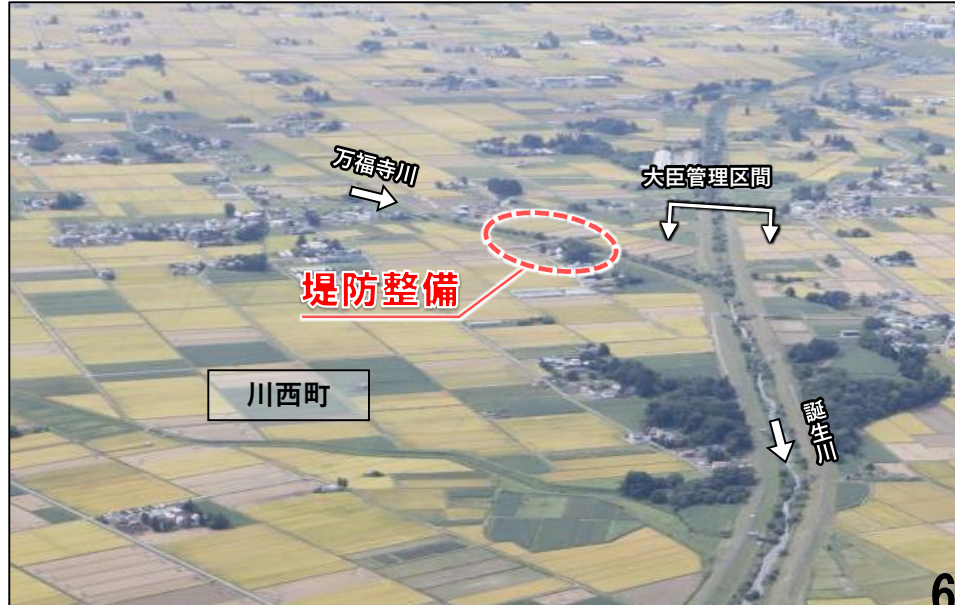
○概要 浚渫延長(予定)

鬼神川:L=2,900m、釜ヶ沢川:L=190m  
大西川:L=464m

事業箇所位置図



事業箇所位置図



### 堤防整備

#### 緊急自然災害防止対策事業債

#### 1. 目的

川西町が管理する準用河川万福寺川及び山口沢川について、越水防止対策として、築堤を行う。

#### 2. 取組

○概要

万福寺川 築堤に向けた実施設計  
山口沢川 用地買収及び築堤

## 内水調整池(高畠町)

### 1. 目的 緊急自然災害防止対策事業債

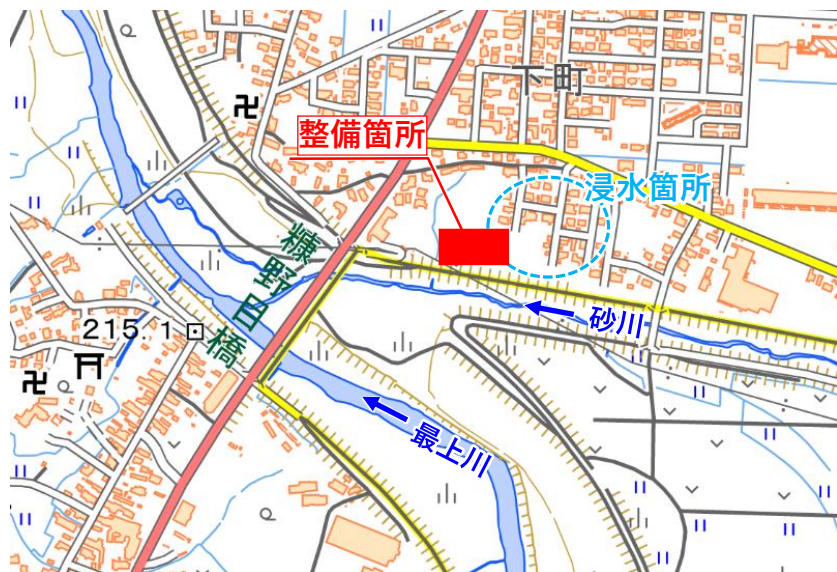
近年の豪雨災害により、被害が多発する「糠野目下町地区」について内水氾濫防止対策のため調整池を整備します。

### 2. 取組

令和4年度は、調整池の設計を実施し、令和7年度の完成を目指す。

○概要 調整池容量  $V=約2,000m^3$

整備箇所位置図



浸水状況 (2019年10月豪雨)



出典:地理院地図に位置等を追加して掲載

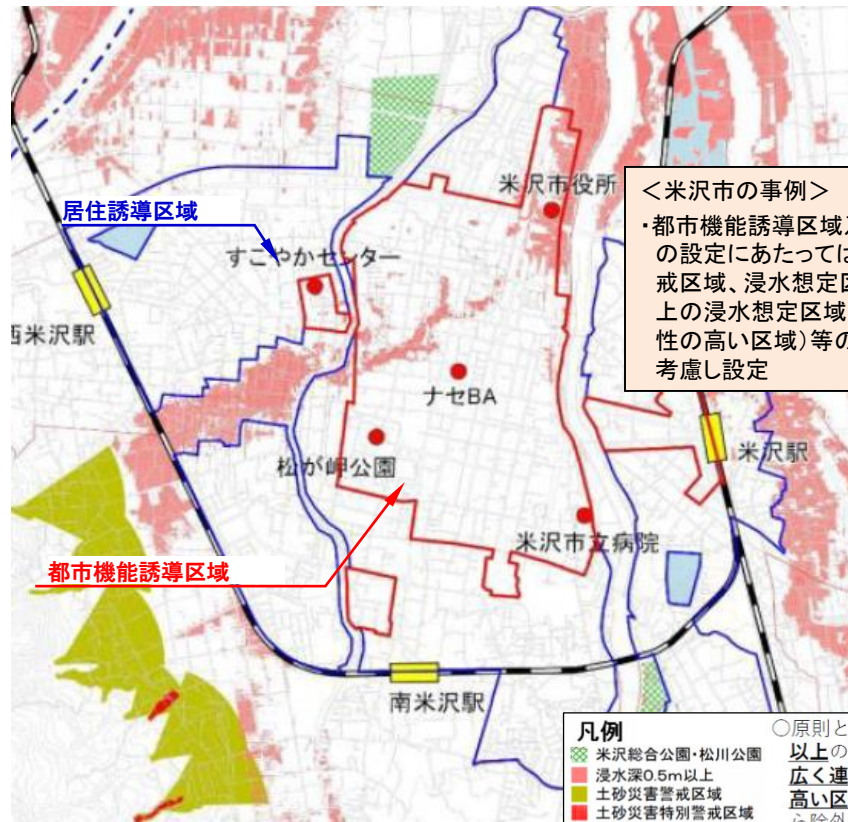
# 被害対象を減少させるための対策

## 災害リスクを考慮した立地適正化計画による居住誘導 等

- 立地適正化計画の作成を進め、浸水エリア等の災害リスクを踏まえた都市機能誘導区域・居住誘導区域の設定により、災害に強く持続可能なまちづくりを目指す。(高畠町)
- 災害リスクのある地域においては、避難指示等による立退き非難の徹底を図る。

### <災害リスク情報を活用した誘導区域の設定>

- ・浸水範囲、浸水深、浸水到達時間等により検討
- ・避難所までの距離から避難時間を想定し、避難可能であるか等についても検討



### <米沢市の事例>

- ・都市機能誘導区域及び居住誘導区域の設定にあたっては、土砂災害特別警戒区域、浸水想定区域(浸水深0.5m以上の浸水想定区域が広く連坦する危険性の高い区域)等の災害リスク情報を考慮し設定

### 凡例

- 米沢総合公園・松川公園
- 浸水深0.5m以上
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 工業地域

- 原則として浸水深0.5m以上の浸水想定区域が、**広く連坦する危険性の高い区域**を誘導区域から除外。
- 他の浸水想定区域は、災害予防の対策を行うことを前提に基本区域に含める。

米沢市立地適正化計画  
(令和2年12月)

### <避難指示にあたってのソフト対策>

- ・豪雨等による浸水等のおそれがある場合は、防災ラジオやエリアメール、広報車などによる避難指示を行う。



防災ラジオ



エリアメール

### <居住誘導区域外の区域での対応>

- ・居住誘導区域外の区域では、特定開発行為の届出にあわせてリスク情報を再周知、必要なアドバイスを検討

※具体的な対策内容については、関係機関で調整中であり、変更となる場合がある。



# 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

## まるごとまちごとハザードマップ

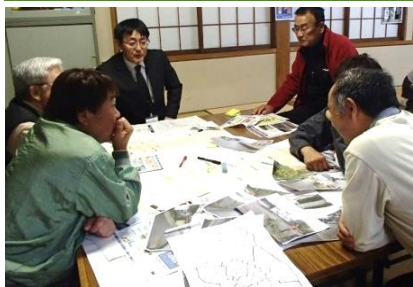
### 1. 目的

まるごとまちごとハザードマップとは、実際に洪水ハザードマップの情報を、まちなかに表示するもので、浸水エリア、浸水の深さ、避難所までのルートを把握し、想定浸水深プレートを設置することで、地域住民の防災意識を高めるものです。

### 2. 効果

- 避難経路を示すことで、迅速な避難行動へつながることが期待できます。
- 過去の洪水時の実績浸水深を掲示することで、過去の被害の記憶を風化させないことが期待されます。

### 「まるごとまちごとハザードマップ」の取り組み事例



地区会による検討、危険箇所等の書き出し

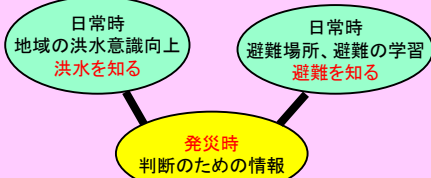


避難ルートの確認・決定



電柱などに浸水の深さ、避難ルートの案内看板を設置

### 地域住民へ防災意識の啓発



地域住民の安全でスムーズな避難

## マイ・タイムライン

### 1. 目的

マイ・タイムラインとは、住民一人ひとりのタイムライン(防災行動計画)であり、台風等の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるものです

### 2. 効果

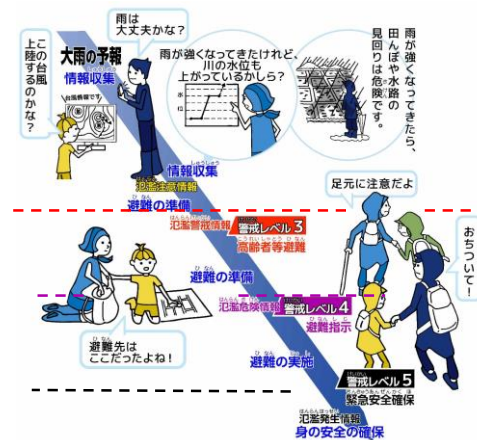
- 時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また判断のサポートツールとして活用することで、逃げ遅れゼロが期待されます。

### マイ・タイムライン講習会 実施状況



出水の課題を受けたタイムラインの改善・流域自治体との洪水対応演習・講習会

### 避難のポイント



マイ・タイムライン作成ツール「逃げキッド」